

主な活動報告



3/14 佐藤が会長を務めた「カーボンサイクル」にてエネオス工場視察(東京)



3/26 自民党「挑戦の会」にてウクライナ支援募金活動(枚方市)



4/10 佐藤ゆかり大阪後援会TEAM SATO発足式兼花見大会(枚方市)



5/1 FCティアモ枚方vs鈴鹿ポイントゲッターズを後援会で観戦(鈴鹿市)



5/21 自民党「挑戦の会」設立総会(大阪市)



5/25 衆議院議員功労議員表彰を受け授賞式に臨む(東京)



7/20 地元を自転車でご挨拶まわり(枚方市)



7/24 地元の定例街頭演説(枚方市)



10/9 三矢町ふとん太鼓を応援(枚方市)



自民党森山選対委員長と大阪11区支部役員面会(東京)



8/30 自民党大阪11区支部役員の国会視察をご案内(東京)



参議院選挙で自民党松川るい候補の応援に駅立ち(枚方市)

自民党大阪11区支部役員 党勢拡大に結束!



自民党女性局街宣車で遊説(枚方市)



参議院選 自民党松川るい候補とガッツポーズ(枚方市)



柴山元文科大臣 松川るい候補とガンパローコール(枚方市)



自民党女性局街宣車で遊説(交野市)

後援会からのお知らせ

お問い合わせは佐藤ゆかり事務所まで

Information

FCティアモ枚方 サッカー観戦バスツアー!

5月1日、JFLサッカーチームであるFCティアモ枚方と鈴鹿ポイントゲッターズの対戦試合が行われ、地元ティアモ枚方の応援のため、日帰りバスツアーで三重県鈴鹿市スタジアムまで応援に乗り込みました。鈴鹿ポイントゲッターズは三浦知良(カズ)が移籍した強豪で、この日カズもプレー、見応えある観戦となりました。



第31回佐藤ゆかり 大阪後援会政経セミナー

11月8日、第2次安倍政権時代の外交戦略の立役者である元内閣官房副長官補 兼原信克氏を講師にお招きし、安倍政権外交の遺産と今後の経済安全保障についてご講演頂きます。大勢の皆様のご参加をお待ちしております。

ゴルフコンペ 「第3回佐藤ゆかり杯」を開催!

11月30日、佐藤ゆかり大阪後援会「第3回佐藤ゆかり杯」のゴルフコンペを交野カントリーで開催します。表彰式と懇親会も予定していますので、大勢の皆様、ご参加をお待ちしております!



佐藤ゆかりの発信情報を以下のサイトで是非ご覧ください!

- LINE @satoyukari.japan
- YouTube www.youtube.com/user/SatoYukariMOVIE
- ホームページ http://www.satoyukari.jp/
- Facebook facebook.com/satoyukari.japan
- Twitter twitter.com/SatoYukari
- Instagram instagram.com/satoyukari.jp/



自民党大阪11区支部事務所 573-0022 大阪府枚方市宮之阪1-23-12 1A TEL. 072-845-4403 FAX. 072-845-4404

前衆議院議員 佐藤ゆかり プロフィール (大阪11区:枚方市・交野市)

自民党前衆議院議員/経済学博士 1961年生まれ。コロンビア大学政治学部卒・同大学院国際関係学科卒、ニューヨーク大学経済学博士課程卒。2005年衆議院初当選、2010年参議院比例代表当選、2014年から大阪11区衆議院議員(2021年衆議院選挙にて惜敗)。環境副大臣、総務副大臣兼内閣府副大臣、経済産業大臣政務官、参議院消費者問題特別委員長、自民党経済産業部会長、党親光国調査会副会長等、経産省産業構造審議会委員、クレディスイス証券経済調査部長、中央大学客員教授、等歴任。現在、ホソカワミクロン株式会社社外取締役、他多数企業・団体顧問。(令和4年10月現在)

YS NewsLetter

枚方市・交野市から改革

自民党大阪11区・前衆議院議員 佐藤ゆかり ニュースレター

発行 | ©自民党大阪11区支部・佐藤ゆかり事務所 大阪府枚方市宮之阪1-23-12 1A TEL:072-845-4403 FAX:072-845-4404

2022 冬号

強靱な国へ 決断と実行

「全日本新時代」を築く

安倍元総理の回顧において、海外の高い評価が再認識されています。自由で開かれたインド・太平洋やQUAD戦略を構想した安倍元総理の外交上のリーダーシップは、岸田政権で更に発展させるべきです。一方で、日本を取り巻く安全保障環境はこの間一段と厳しさを増し、北朝鮮のミサイル発射による世界への挑発は止まりません。ウクライナ危機の次は日本海域の危機との認識を米欧と共有しながら、日本の防衛費の対GDP比2%以上への増額からサイバーテロ対策の強化まで、日本全体を俯瞰する防衛体制の強化が求められます。

一方、日本経済では、米国の利上げによる円安の急伸にコロナ関連の生産・物流の遅延による供給制約が加わり、悪いインフレが浸透、中小企業の仕入れ値の高騰への対策や勤労者の賃上げなど難しい課題に直面しています。未曾有の課題克服と新時代の構築には、政治の決断と実行が必要です。私も岸田内閣の閣僚の皆様さまざまな提言を行っており、引き続き国民の切実な要望を国政で着実に実現するための仕事に徹してまいります。

佐藤ゆかり

自民党 前衆議院議員

佐藤ゆかり



# アメリカ上院議員と安全保障を語る！



ジョン・ブーズマン議員と



スーザン・コリンズ議員と

9月、自民党阿部俊子衆議院議員とともにワシントンD.C.とニューヨークに出張、6人の米国上院議員と面会し、日本の外交安全保障について意見交換しました。ほぼ全ての上院議員が台湾有事の問題を取り上げ、日米連携の重要性に話題が及ぶなど、日本を取り巻く安全保障環境の急変に米議員も懸念を抱いている状況が印象的でした。佐藤ゆかりも日本国憲法改正の必要性やTPP等のアジア太平洋における自由貿易協定に米国の参加を求める議論を展開、民主主義という同じ価値観を共有する友好国間でのエネルギーや食料の域内自給率の向上など、サプライチェーンの再構築の必要性についても活発で有意義な意見を交わしました。



マイク・ブラウン議員と



マジー・ヒロノ議員と



ビル・キャンディー議員と



ロイ・ブランド議員と

# エマニュエル駐日米国大使と会談！

10月、大阪の中小企業の対米直接投資やジョイントベンチャー等の日米企業展開支援のため、ラム・エマニュエル駐日米国大使と佐藤ゆかりが大使公邸で会談しました。日本政府やジェトロは目下、中小企業の海外展開を加速させようとしています。しかし、日本政府の海外ネットワークだけでは政策的限界があり、米国大使館の持つ知見や支援策も有効活用できるような重層的な体制作りが大切です。例えばグリーンイノベーションには米国の大型予算があり、日本の対米進出企業が米国企業とタイアップし、予算を有効活用し、米企業とともに成長するシナリオも双方にプラスです。これからも佐藤ゆかりは、長い海外経験と知見を活かし、経済外交分野でひとつひとつ丁寧な、要所要所の草の根外交を進めてまいります。



駐日米国大使ラム・エマニュエル氏と大使公邸で会談

# 谷防災大臣にトレーラーハウス活用促進を要望！

大阪も南海トラフ地震発災の高まる可能性が指摘されるなか、平時はグランピング場で快適にレジャー施設として使われるトレーラーハウスの災害利用をさらに進めるため、佐藤ゆかりは10月13日、(社)日本RV・トレーラーハウス協会の代表理事等をお連れし、谷防災担当大臣に要望を行いました。2016年の熊本地震では、熊本県益城町の福祉避難所に日本初のトレーラーハウス30台が設置されて以降、西日本豪雨災害で被災した岡山県倉敷市でも、トレーラーハウスによる応急仮設住宅が実現するなど、国はトレーラーハウスを災害救助法の仮設住宅として認定。従来の仮設住宅が使用後コンクリートの基礎から全て取り壊されるのとは異なり、トレーラーハウスはキャンプグラウンド等へ撤収し、災害の都度再利用が可能なため、リサイクルの環境メリットがあります。



谷防災担当大臣に要望



大阪市バームガーデン舞洲のグランピング場のトレーラーハウス



仮設住宅として使用されているトレーラーハウス

# 外交安保から地方創生まで東奔西走

## 2025年大阪万博— デジタルサイネージの 広告活用を！

2025年大阪・関西万博まであと一歩。しかし、まだ全国的盛り上がりには欠ける感が否めず、10月、佐藤ゆかりは(社)日本パブリック・ビューイング協会の代表理事とともに、デジタルサイネージや大型ビジョンを活用した全国の万博情報発信という、広報活動強化を(公社)2025年日本国際博覧会協会に提案しました。テレビやインターネットでサイトをみずから選択し視聴する広告と異なり、デジタルサイネージや大型ビジョンは、駅前や商業施設の広場など人通りの多い場所です。特定多数の人が視聴可能なプッシュ型の情報発信を行えるため、若者をはじめ多様な層の方々への周知にも高い効果が見込めます。海外のみならず日本全国から大阪・関西万博を観に来場頂き、地方創生の経済効果にしっかりと繋がるよう、博覧会協会と連携のもと、政策を推進してまいります。



広告サイネージの大型ビジョン

広告サイネージのデジタルサイネージ

## FCティアモ枚方を 京阪HDに橋渡す！

ホールディングス

枚方のサッカーチームFCティアモ枚方のJリーグ入りの夢に向けて、佐藤ゆかりは10月、京阪ホールディングスの三浦副社長に、ティアモ枚方の社長と部長を紹介し、ホームスタジアムの建設やスポンサーへのご協力を依頼しました。ティアモ枚方は、2021年JFLに昇格し上位8位、2022年9月時点で同13位の成績です。スポーツイベント開催により地方創生に繋げるスポーツ・ツーリズムは、2019年のラグビーワールドカップ日本開催がその代表例。世界中のラグビーファンが来日、観戦、飲食、グッズ販売、観光地への列車移動など、邦人含めた経済効果は約6500億円となり、北海道網走市はラグビー合宿の聖地と化しました。スポーツ・ツーリズムは、スポーツチームと、地元自治体、企画・マーケティング組織、サポーターズクラブや協賛企業の連携により成功します。ティアモ枚方のホームスタジアム建設に向けて、佐藤ゆかりは国と人とを繋いでまいります。



FCティアモ枚方公式サイトより

## 枚方の花火大会— 本格的復活を応援！

9月4日、いよいよ第1回「水都くらわんか花火大会」が淀川河川公園で実現！枚方では約20年前まで花火大会が開催され、今回の花火大会は、その復活に向けて佐藤ゆかりも応援させて頂いた(社)Light up OSAKAの皆さんの粘り強い8年間の活動を通じた集大成でした。枚方・高槻の2021年度出生児数と同じ4995発の花火はまさに見応えたっぷりの感動。かつて経産大臣政務官を務めた佐藤ゆかりは競技花火大会の各地開催を支援してまいりました。技術を競う花火師の方々に、競技花火の最高峰は内閣総理大臣賞の受賞や経済産業大臣賞、文部科学大臣賞、中小企業庁長官賞、観光庁長官賞など受賞の励みです。水都くらわんか花火大会が今後毎年の開催を通じて競技大会に発展できるよう、しっかりと支援を続けてまいります。



第1回 水都くらわんか花火大会

## 円安急伸— 受難から経済復活への道



岸田総理は9月30日の閣議で、物価高騰と賃上げ、円安メリットの取り込みを柱とする秋の総合経済対策を指示。エネルギー・食料品等の価格高騰下にある生活者や事業者を支援するとともに、ゼロエミッション電源の活用や省エネ投資の促進、化石燃料や化学肥料等への依存引下げを通じて、エネルギーや食料品を危機に強い構造へと転換します。また、物価上昇に見合う継続的な賃上げへのインセンティブ強化も必須。日本は、1ドル145円換算で実質賃金がOECD加盟38カ国中28位と「低所得国化」、中小企業も物価高で経営難。賃上げには元請けへの十分な価格転嫁の事業環境整備も不可欠です。一方、円安メリットを活かし、インバウンド需要の再開、対日直接投資の促進、農水産物輸出拡大などの外需取込みに繋がる経済構造への強靱化も重要です。日本経済全体の大改革に向けて、佐藤ゆかりは積極的に企画提案を続けてまいります。